

# 世界の大学の今 ヨーロッパ



University of Oxford, UK

高等教育研究開発センター

大場 淳

oba@hiroshima-u.ac.jp

## 初期のヨーロッパの大学

- ヨーロッパは大学発祥の地
- 初期の大学は数百年の歴史
  - ボローニャ大学(イタリア)
  - パリ大学(フランス)
  - オクスフォード大学(英国)
  - サラマンカ大学(スペイン)
  - コインブラ大学(ポルトガル) …

## Universidad de Salamanca



## Universidade de Coimbra



コインブラ大学大講義室

## Université de Toulouse 1

Institut d'Etudes Politiques



# ヨーロッパの大学の現在 ~ 概説

(出典) 文部科学省「教育指標の国際比較平成13年度版」

	年	設置者	種別	数	学生数	基本在学年		
英	1997	国	大学	87	115万	3年		
			高等教育カレッジ	63				
仏	1997	国	大学	87	150万	2年～		
			高等教育カレッジ	63				
独	1998	州	大学	93	133万	最低4年		
			教育大学	6			1.8万	3年
			芸術大学	46			3.0万	4年
			高等専門学校	188			44万	3年
日	2000	国公私	大学	649	268万	4年		
			短期大学 含高専45年	634			37万	2年

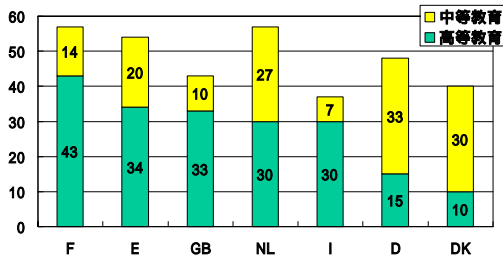
学生数は大学院(クラス)の学生を含む。ドイツは神学大学を除き(学生数2,510人)、大学には高等専門学校等の機能を持つ総合制大学を含む。

# 大学の入学資格

	種別	典型的な入学要件
英	大学	高校修了試験であるA-Level試験で一定以上の成績を修め、各大学独自の(書類)審査に合格すること
仏	大学	志望する大学学部等に必要の種類(Baccalauréat(普通、技術、職業))を取得していること。
独	大学	ギムナジウム(Gymnasium)等を修了し、Abiturを取得していること。
	高等専門学校	実科学校(Realschule)等を修了し、一般入学資格(AH: Allgemeine Hochschulreife)を有していること。
	芸術大学	AHを有し、芸術試験に合格すること

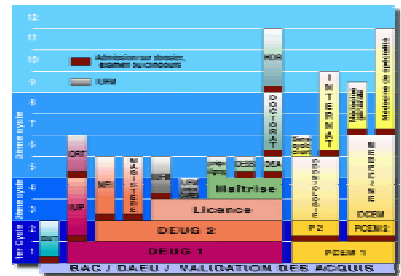
# 各国の進学率

20歳時において、国別に中等教育、高等教育に就学している者の割合を示した。1998年のOECD調査より。



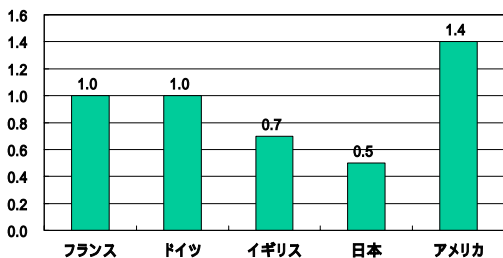
# 大学における教育の編制

- フランスの例から -



# 高等教育予算

高等教育に対する公財政支出の国際比較(OECD比較)



# 自然科学系論文生産主要大学(1999)

(出典) 国大協資料

1	ハーバード大学	11	ジョンズホプキンス大学
2	東京大学	12	ウイスコンシン大学
3	UCLA	13	インペリアルカレッジ
4	ミシガン大学	14	UCSD
5	トロント大学	15	大阪大学
6	ペンシルベニア大学	16	東北大学
7	京都大学	17	オックスフォード大学
8	スタンフォード大学	18	イェール大学
9	ケンブリッジ大学	19	MIT
10	バークレー大学	20	シカゴ大学

この後、九州大学、名古屋大学、北海道大学の順で続く

## 現在のヨーロッパにおける大学の現状と課題

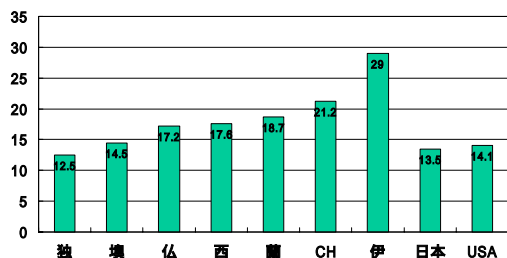
- 進学率の向上に伴う、大学の「飽和化」
- 大学生の高いドロップアウト率
- 一部学生の就職難
- 成人学生やパートタイム学生など、学生の多様化
- 国により、多様な高等教育機関が併存
- 一部の高等教育機関の過度のエリート主義

## 大学の「飽和化」 saturation

- 進学率の大幅な向上により、大学に学生が溢れるようになった
- フランスでは、1980年から1995年にかけて学生数が倍増し、150万人を越えた。
- 大学では、施設や教員の不足が深刻に
- 学生運動が盛んになり、社会問題化

## 学生数と教員数の比率

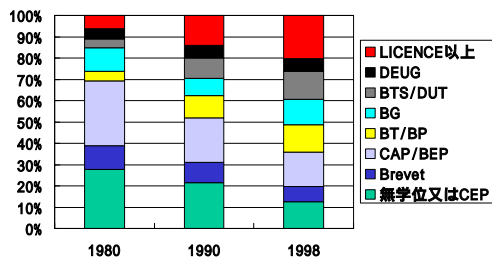
(出典) OECD "Education at a Glance 1998"



## 進学率の推移～フランスの例



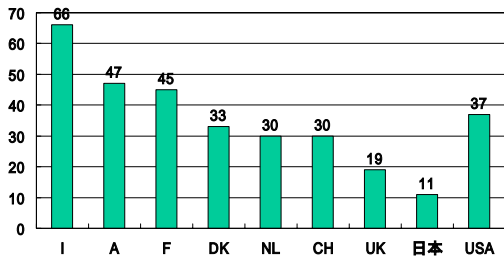
## 延びる学歴



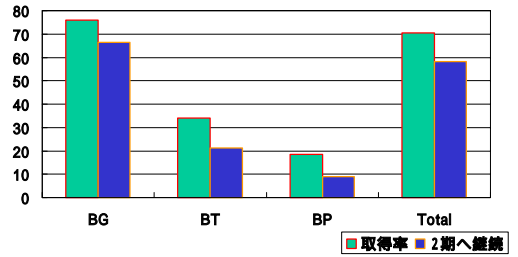
## 学位の取得とドロップアウト

- 学位は大学による学生の「学力証明書」
- 学年が進むに連れて、より高度な学位が取得可能
- 一つの学位取得後は、就職あるいはより高度な学位を目指して学業を継続
- 他方、学業を放棄(ドロップアウト)する者が多数存在
- フランスにおける第一期(DEUG: 最低2年)を修了し、第2期へ進学するのは6割弱(1999年)

## 各国のドロップアウト率

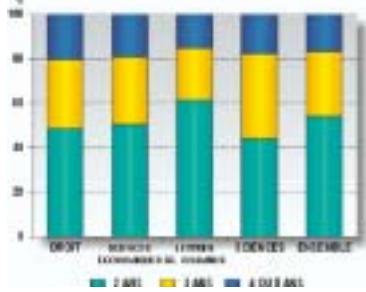


## DEUG取得率と第2期への進学率 1998年

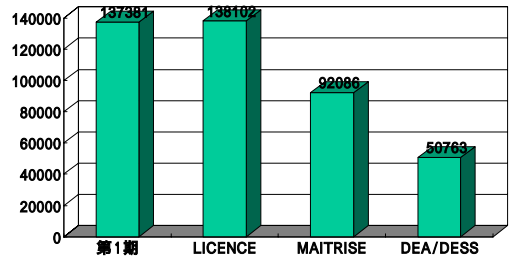


## DEUG取得に至るまでの年数

1999-2000年度実績 (フランス文部省資料より)

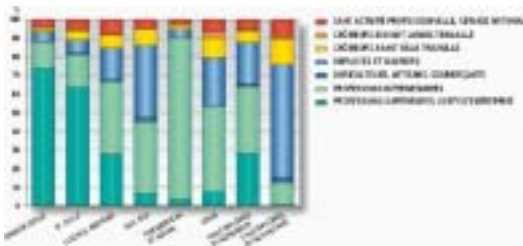


## 学位別の取得者数 (1998年)



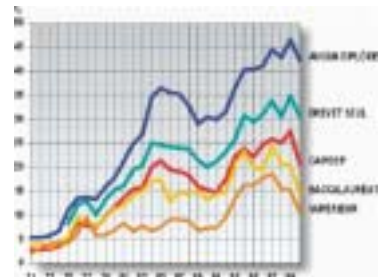
## 学位と就職

最終就学年後5年後に占めている職種と保持する学位



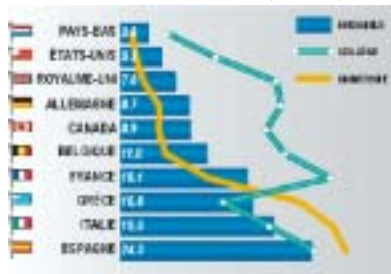
## 最終学歴と失業率の推移

25歳未満の者の失業率推移

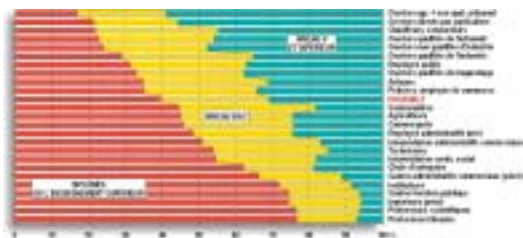


## 中卒と大卒の失業率の国際比較

25-29歳の失業率の比較(1998年)

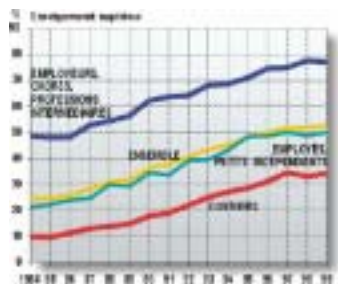


## 取得学位と家庭環境



## 家庭環境別高等教育就学率推移

20/21歳の者が高等教育に就学している割合の推移



## 日本との比較考察

- 学習時間の少ない日本の高校生
- 多様な課外活動
- 学問分野に細分化し、硬直した大学組織
- 卒業要件が緩やかで、学習へのインセンティブが少ない
- 「学力保証装置」の欠如に伴う、生徒間の絶大な学力差の存在
- 大学受験科目への知識の偏重

## 中学生と高校生の生活実態

昨年、民間会社が中学生を対象に行った調査から、平日の放課後に行うことが多いとした者の回答率を、中学2年生、高校2年生別に示した(複数回答)。

あてる時間の対象		中2	高2
家の外	体を動かす	54.7	38.2
	塾や習い事	48.0	13.1
	商店や書店	41.9	60.0
	コンビニエンスストア	22.7	34.3
	ゲームセンター等	15.0	19.0
	喫茶店・ファーストフード	7.4	17.6
	図書館等	7.0	4.1
家の中	アルバイト	0.6	13.7
	宿題や読書	59.2	39.9